

## 大切な水

ザザーツ

このように歯磨きの時などつい水を出しっぱなしにしてしまっている、祖母はよく「出しっぱなしにすると、もったいない、もったいない。」

と、言います。ある時、私はなぜ祖母がそこまで水を大切にするのか気になったので聞いてみました。すると実感がわからないような、昔の話をしてくれました。

祖母が子どもの頃住んでいた集落では一つの井戸を何軒かが共同で使っていました。洗濯や野菜を洗ったりする作業はそこで行く、飲み水や食事作りに使う水は木のおけにくんでそれぞれのおけに持ち帰り、水がめのために持ってきたそうです。お風呂の水も木のおけで持ち帰ったそうです。重たい水の入ったおけを持ち、部にあります。重たい水の入ったおけを持ち、

生駒市立上中学校 二年

中井 真穂

山の坂道を登っていくのはどんなに大変だったでしょう。子どもだった祖母もよく手伝わされたそうです。私は水の入ったおけを持ち、坂道を登ったことはありませんが、毎日重たいかばんを背負って学校へ行っています。最近道路も舗装され、歩きやすくなっています。ですが昔、ましてや山道ではとても歩きにくかったでしょう。そんな道を重たい水の入ったおけを持ち、それを毎日何回もくりかえして歩いて私は耐えられないと思います。祖母はそのような苦勞を体験してきたからこそ、水をとても大切にしますのでしよう。その話を聞いて、水をそれほど大切に思わずに、蛇口をひねれば水は当たり前に出ていると思ってい

た私は恥ずかしくなりました。日本では何年か前の現実ですが、世界ではまだ水道などの設備が十分でなく、大変な思

いをして、いる人がまだたくさんいます。昨年夏、姉がアフリカにあるウガンダへ旅行してきた時の話です。観光客が泊まるようなきれいなホテルですら、突然シャワーの水が出なくなり、かろうじて出ていた水道の蛇口で頭を洗ったそうです。そのようなことは日本では考えられないことです。

このように祖母の話や姉の話聞いて、蛇口をひねればきれいな水が豊富に出てくる現代の日本の生活がいかにありがたいことであるかを、改めて感じることにできました。水道は、川やダムの水を浄水場できれいにし、水道管を通り各家庭に届けられます。浄水場では、ろ過や消毒といった何段階もの過程を経て、きれいな水が作り出されます。それには多くの手間と費用がかかっています。それなのに私たちは、当たり前のように毎日水をたくさん使い、時には出しっぱなしにしてムダ使いしてしまっています。昔の人はとても大切に水を使い、暮らしていたのに、私たち現代人はもうその心を忘れてしまっているような気がします。当たり前前に水がある生活に、感謝の心を忘れずに、大切に水を使っていく

べきだと思います。もし、水が無くなると植物が枯れ、動物も水分がなくなり生きていけなくなります。水は生命の源であり、人が生きていくうえで無くてはならないものなのです。私たちは水に対する意識を高め、この限りある大切な水資源と不自由なくきれいな水を使える今の生活を、未来に引き継いでいこうと思います。